

[illegible]

①2

金属電線管の
塗装

①3

鍵

14

地中電線路

①5

回路の種別
行先の表示

①6

電線の接続

①7

電線管の接続

①8

接地工事

19

建設発生土の
処理

20

再生砂・再生砕石
再生アスコン使用

②1

耐震施工

22

あと施工アンカー

③3

はつり及びあと
施工アンカー打設

④4

改修部分の足場

25

墜落制止用器具
(フルハーネス型)

露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
ただし、見えかきり部の塗装については監督員の指示による。
壁等の鍵は、既存壁及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。

(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管 種 別
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

(2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。

(3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

ハンドホール、ブルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。

湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

漏電遮断器で保護されている回路と保護されていない回路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、湿触防止のため、緑色、緑×黄又は緑×色帯で区別する。

埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
・構外搬出適切処理する。

契約書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、表層以外において監督員の了解を得た上で、
再生砂使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

(1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kgf] に、設計用水平地震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平地震度は、次による。

設置場所		機器種別	○特定の施設		・一般の施設	
			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	
	水 槽 類 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	

【備 考】 (※1)：水槽類には、オイルタンク等を含む。

重要機器
・配電盤 ・発電装置(防災用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
・交換機 ・火災報知器受信機 ・中央監視装置 ・太陽光発電装置

上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、（一社）日本建築業と施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、理込みの完了が分かる記録を添付すること。
（原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。）
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。
電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種(枠組足場)・B種・C種・D種・E種・F種
※足場を設ける場合は、「(手すり先行工法等に関するガイドライン)」について(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立て、解体又は変更の作業は、(手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準)の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

※使用を要する
・使用を要しない

墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン
(平成30年6月22日付基発0622第2号)による

26 アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工物において大気汚染防止法及びび綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
27 その他	(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。 (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。 (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。 (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 (6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象面所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。 (9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。
2.3 工事一般事項	(特記事項選択項目は、○印のついたものを適用する)
項 目	特 記 事 項
① 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は通用形とする。なお、2口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとす。 (3) 照明測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継接 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継接を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継接を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルこがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。
② 動力設備	(1) 動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はL R1とする。
4 受変電設備	高圧引込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社にも再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 (端末処理 ・耐塩用 ・一般用) 受電電圧 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 柱上用高圧気中負荷開閉器(PAS) 定格電圧 7.2kV 定格電流 A 主遮断装置 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 変圧器設備容量 動力用 kVA× 台 電灯用 kVA× 台 高圧直相コンデンサ kVar× 台 直列リアクトル ・6% ・1.3% kVar× 台
5 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を室内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 (概要)
7 発電設備	・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置 ・マイクロガスタービン発電装置 ・燃料電池発電装置 ・熱供給(コージェネレーション)発電装置 ・太陽光発電装置 ・風力発電装置 (概要)

項目	特記事項
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、 ガス漏れ火災警報設備、 拡声設備 (非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合室内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	県営住宅
スイッチ (一般)	床上～中心	1,300	1,200
" (身体障害者用)	"	1,100	1,000
" (人感センサー切換用)	"	2,000	2,000
コンセント、電話用フットレ、直列コンセント (一般)	"	300	400
" (和室)	"	150	200
" (台)	台上～中心	150	500
防水型コンセント	床下～中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉箱	"	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
呼出ボタン (身体障害者用)	"	900	900
復帰ボタン (")	"	1,800	1,800
廊下表示灯 (")	"	2,000	2,000
端子盤	"	(上端1,900以下)1,500	2,000

3 その他

3.1 他 工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。

3.2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、JIS A1版として縮尺とする。

3.3 疑義
本特記仕様書、別記共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。

第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

- ・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) m3
- ・中間処理施設 市 地内、(株)
- ・処理方法 中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融含まず)
- ・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む)

2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

4 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。

第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。

第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としなければならないものとする。

4 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。

3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合には、別途監督員と協議するものとする。

昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書

第1条 この特記仕様書は、昇降機設備工事 (新設、増設又は更新) において、昇降機を常時適法な状態に維持できるように必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」(平成28年2月19日付け国土交通省住宅局建築指導課) による。

第2条 この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。

2 昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。

3 発注者とは、本工事の発注者をいう。

4 受注者とは、本工事の受注者をいう。

5 製造者とは、昇降機の製造者をいう。

6 管理者とは、昇降機の引渡を受け、施設管理を行う者をいう。

7 保守点検受注者とは、管理者からの委託により、保守点検業務を受注した者をいう。

第3条 製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。

2 製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供すること。

3 製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するとともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。

4 製造者は、保守点検受注者からの依頼に対し協力すること。

5 受注者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。

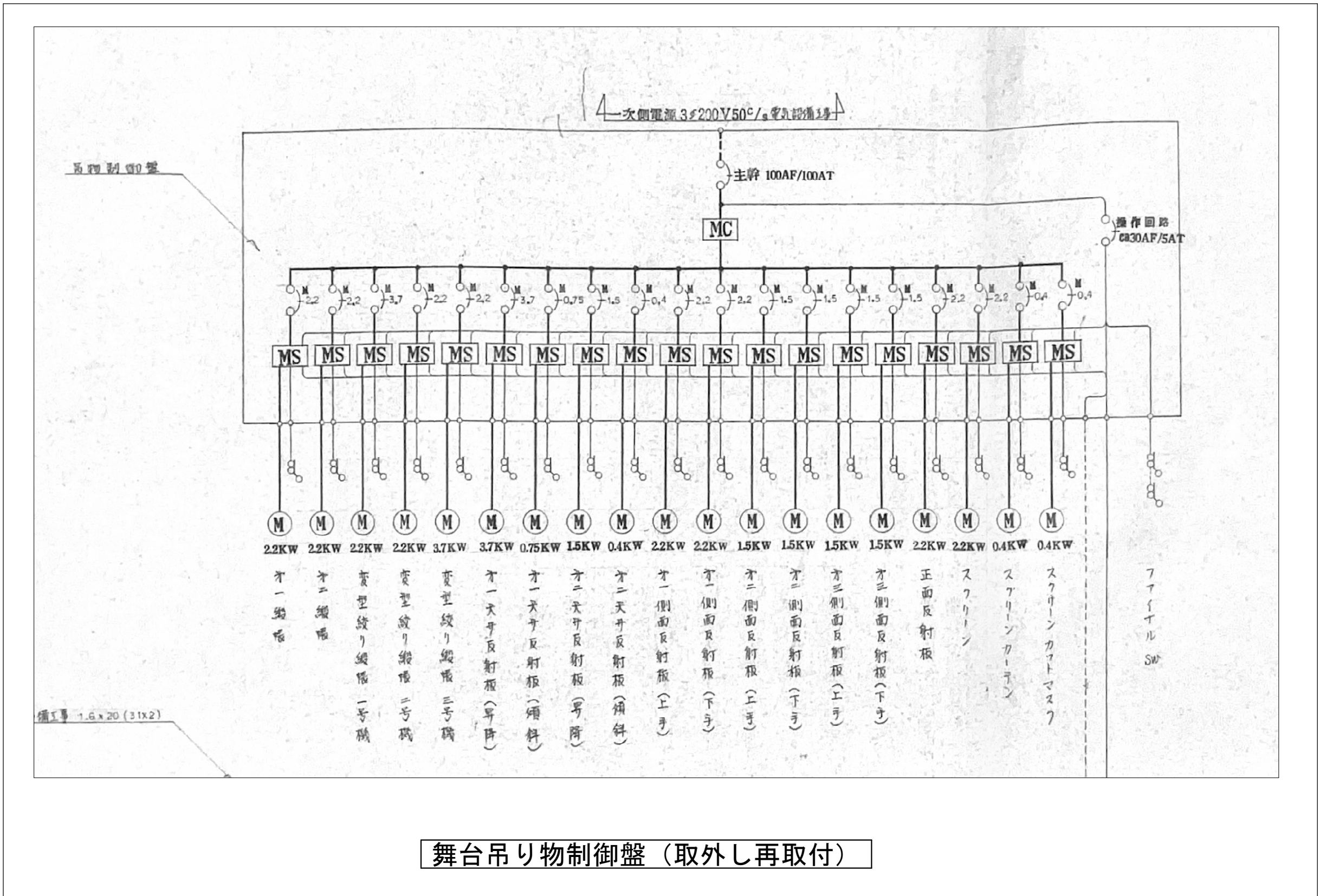
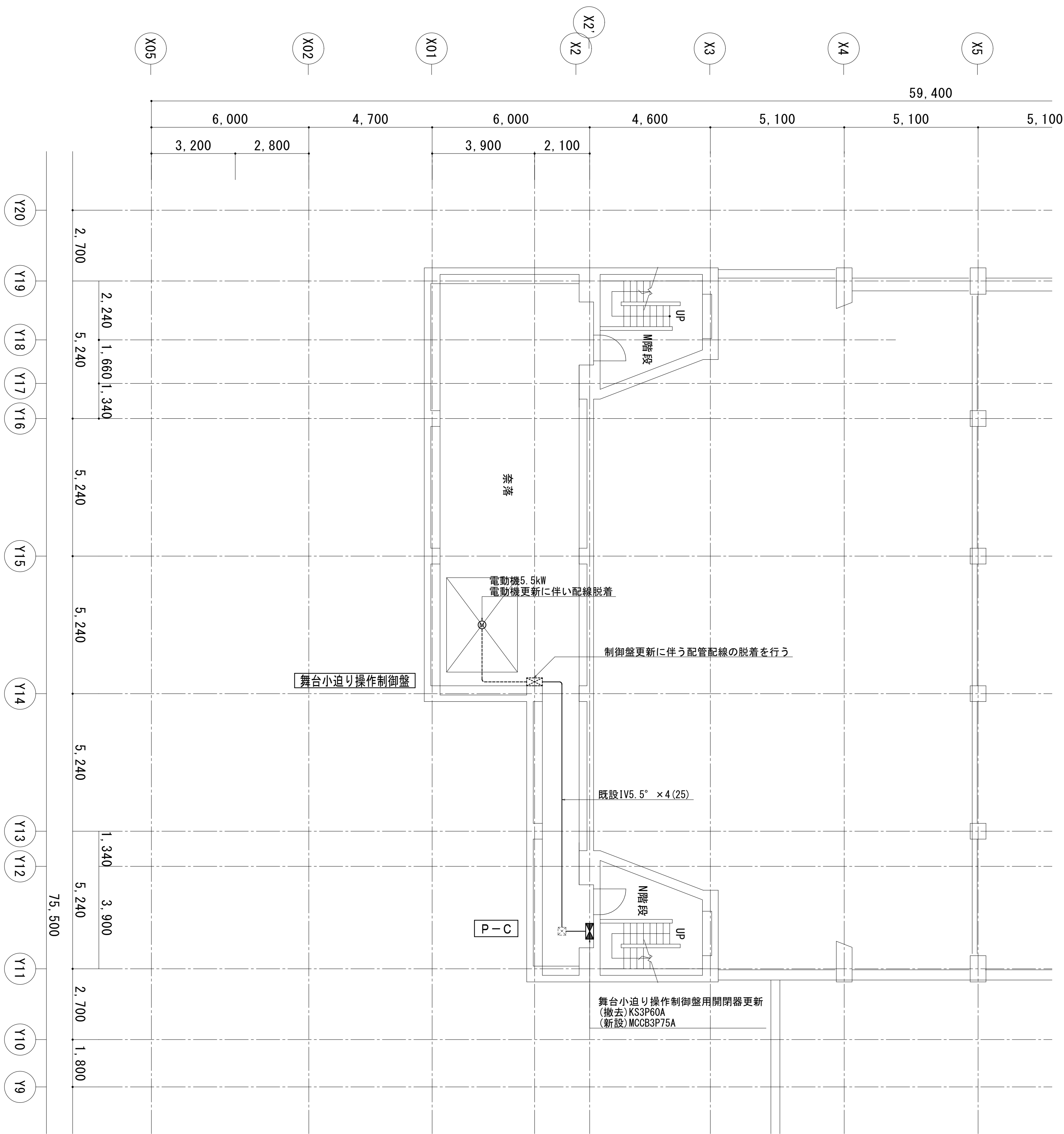
第4条 この特記仕様書に定める事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

工事範囲の主な既設機器メーカー

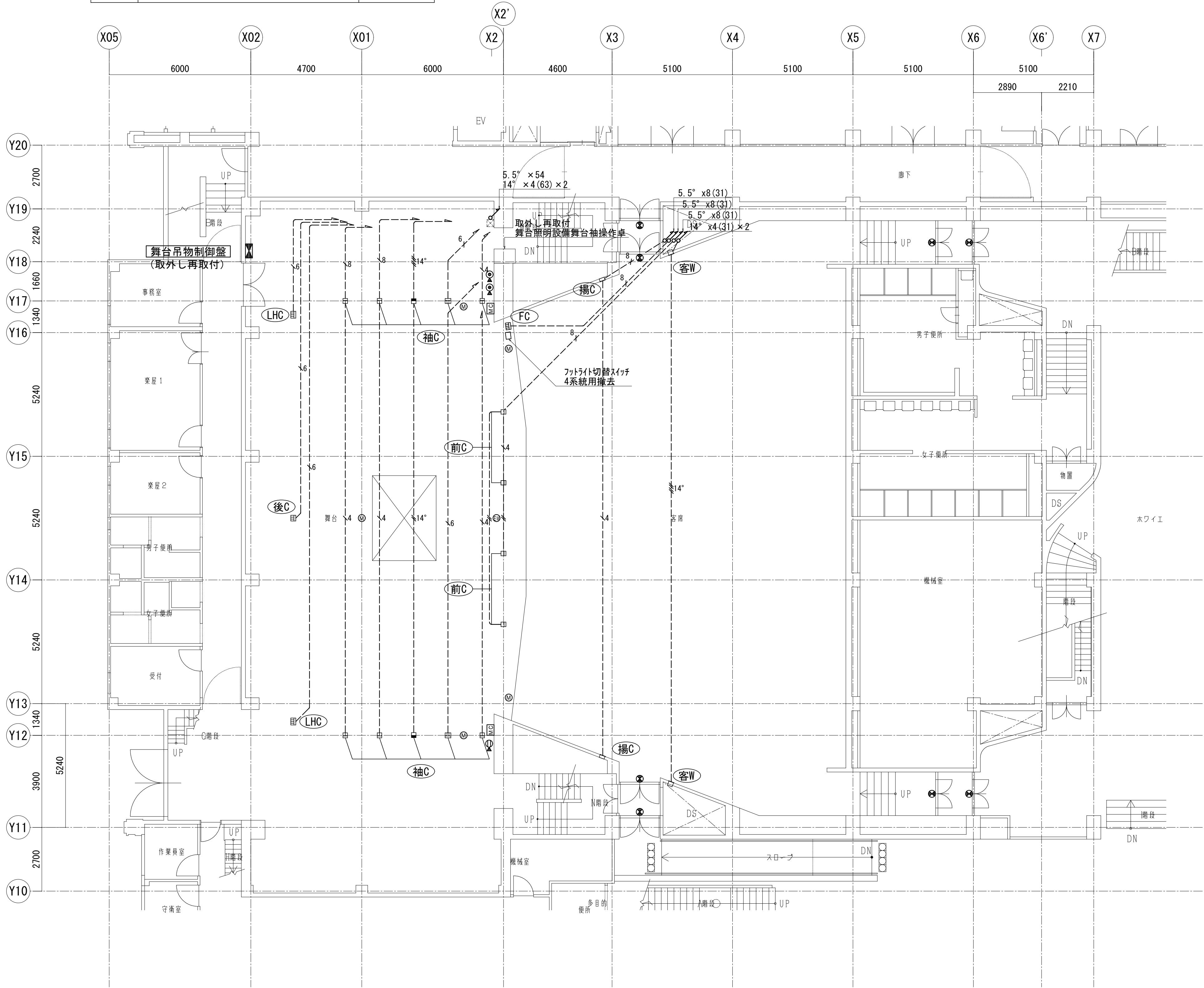
機器名称	既設機器メーカー名
舞台照明設備	松村電機製作所

官公庁等打合わせ機関
建築：
昇降機：
施設管理者：
電力会社：
電話会社：
ケーブルテレビ会社：
消防本部：

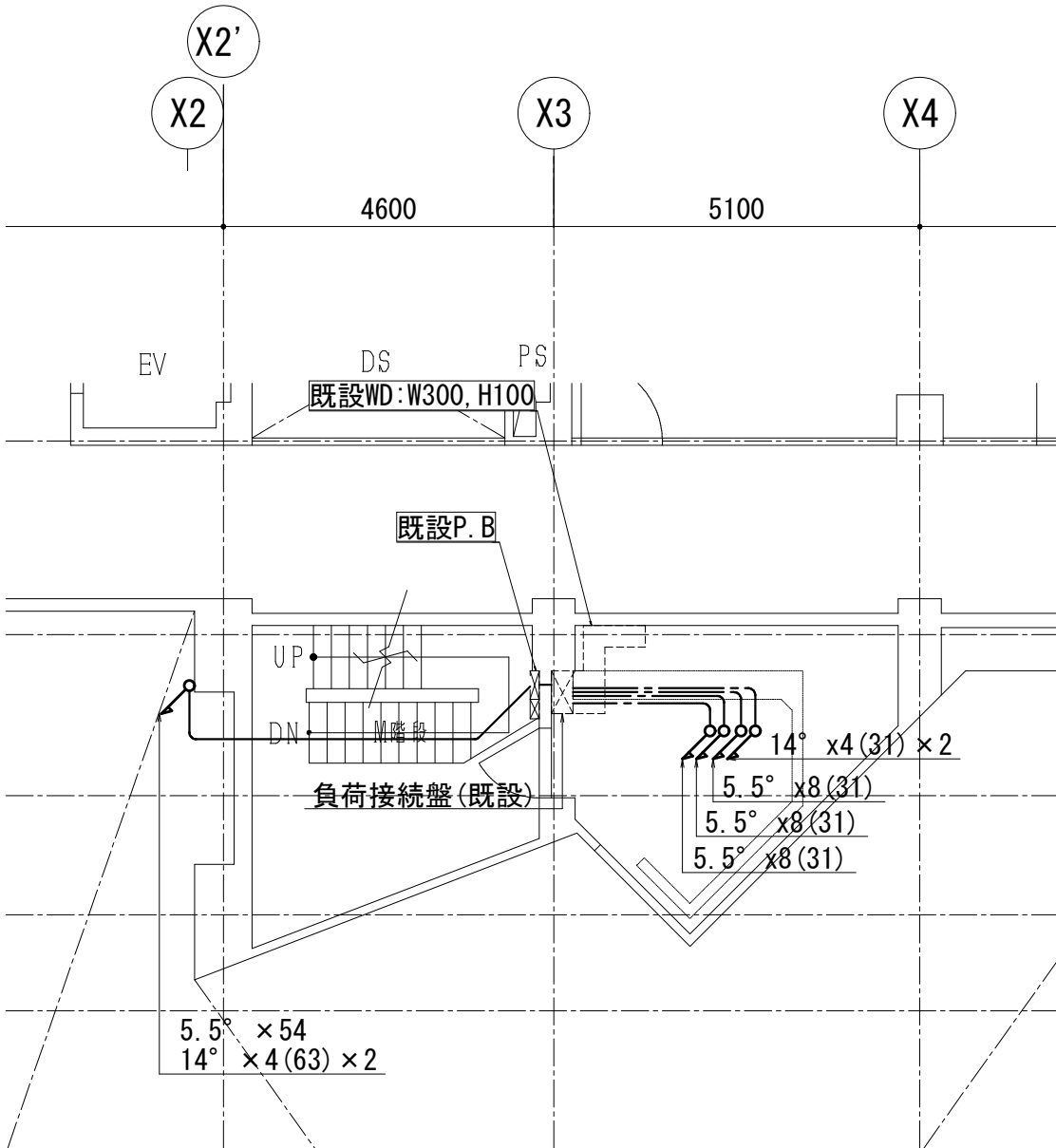
			 株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録 (12) 183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	委託番号 25-101				日付 2025年 6月30日				市民会館ホール改修工事	設計図	図面名 電気設備工事特記仕様書	縮尺 S=NS (A3版NS)	図面種別	
				設計部長		検 査		担 当		製 図						E	
				豊島		伊藤		池田		池田						図面番号	
																01	



設備凡例		
記号	名 称	備 考
FC	フットライト用フローコンセント	撤去・新設
前C	舞台前フローコンセント	撤去・新設
袖C	舞台袖フローコンセント	撤去・新設
後C	舞台後フローコンセント	撤去・新設
揚C	揚幕コンセントプレート	別途工事
客W	客席ウォールコンセントプレート	撤去・新設
LHC	ローアリー用フローコンセント	撤去・新設



1 階平面図 S=1:100



2 階平面図 S=1:100

凡例表

記 号	名 称	備 考
≡	舞台吊り物制御盤	取外し・再取付
○	フットライト	撤去・新設(支給品取付)
☒	プルボックス	破線は既設
⊠	ハブプレート 露出スイッチボックスに取付	新設
Ⓜ	埋込コンセント2P15A×2	撤去・新設
Ⓜ	フロアコンセント2P15A×1	撤去・新設
Ⓜ	ローテーションアウトレット	撤去・新設
Ⓜ	舞台照明設備フローコンセント	撤去・新設
Ⓜ	避難口誘導灯	撤去・新設
Ⓜ	壁マイクコンセント	撤去・新設
Ⓜ	フロアマイクコンセント	撤去
Ⓜ	マイクエレベーター	撤去
Ⓜ	マイクコネクタボックス	取外し・再取付
Ⓜ	ワイヤレスアンテナ	取外し・再取付

注記

- 図中の配管配線を撤去する。(但し埋設配管を除く)
- 特記無き配管配線は下記とする。(舞台床下は配管も撤去)
----- 1V5.5°×2(25)
----- 4 ----- 1V5.5°×4(25)
----- 6 ----- 1V5.5°×6(31)
----- 8 ----- 1V5.5°×8(31)
----- 14° ----- 1V14°×2(25)
----- 14° ----- 1V14°×4(31)
- 舞台照明用フローコンセント更新に関しては別途発注の
市民会館舞台照明設備改修工事と調整を行いながら材料の選定や施工を行うこと。
- 舞台吊物制御盤は床改修に伴い取外しを行い壁から漏水が有るので
壁から離して再取付を行う。(取付架台建築にて新設)
- 舞台上の舞台音響設備フロアコンセントは機器のみ撤去とし配管配線は残置とする。



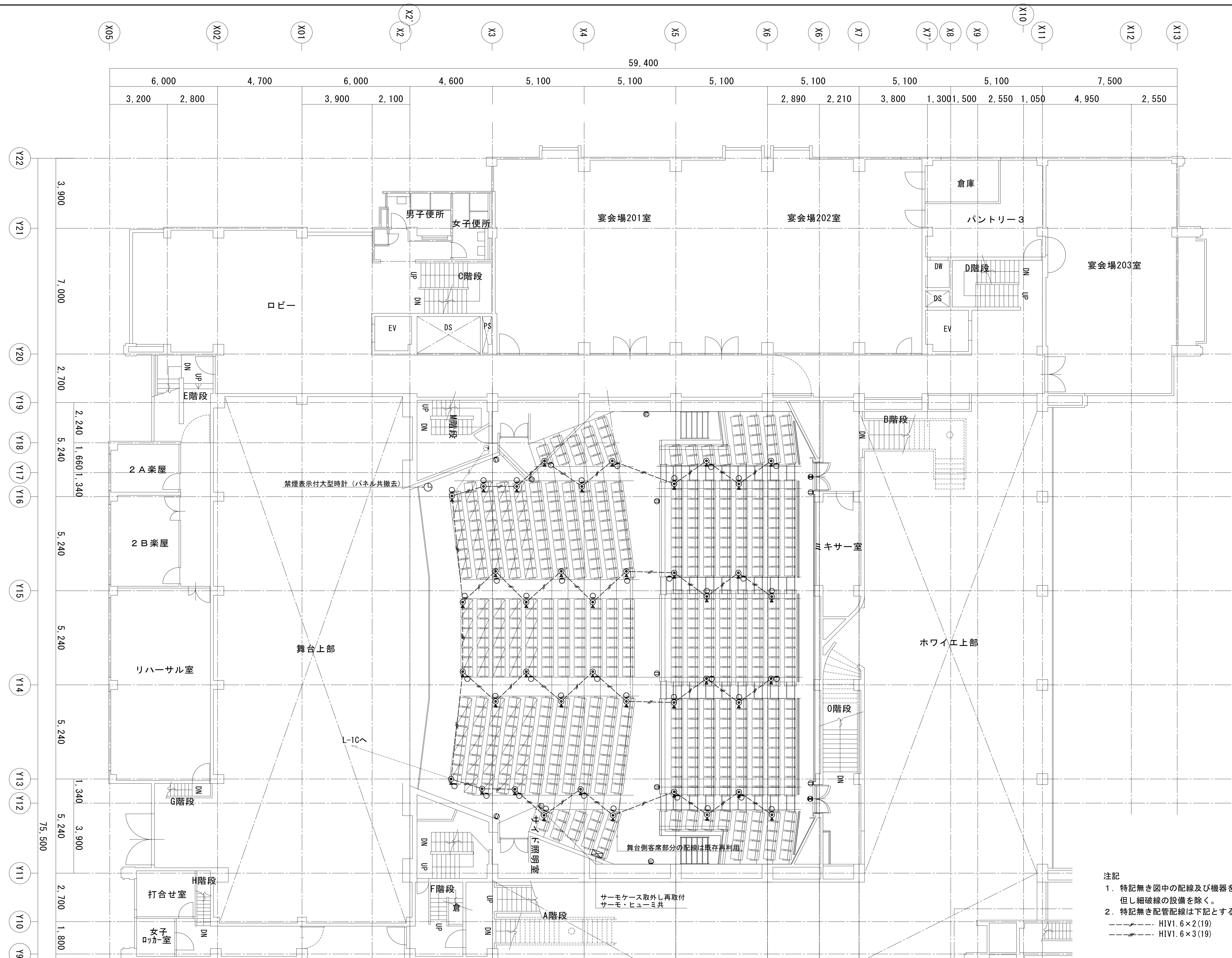
株式会社 松下 設計
一級建築士事務所
登録(12)183
埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号 25-101	日付 2025年 6月30日
設計部長 伊藤	検 査 池田
担 当 池田	製 図 池田

市民会館ホール改修工事

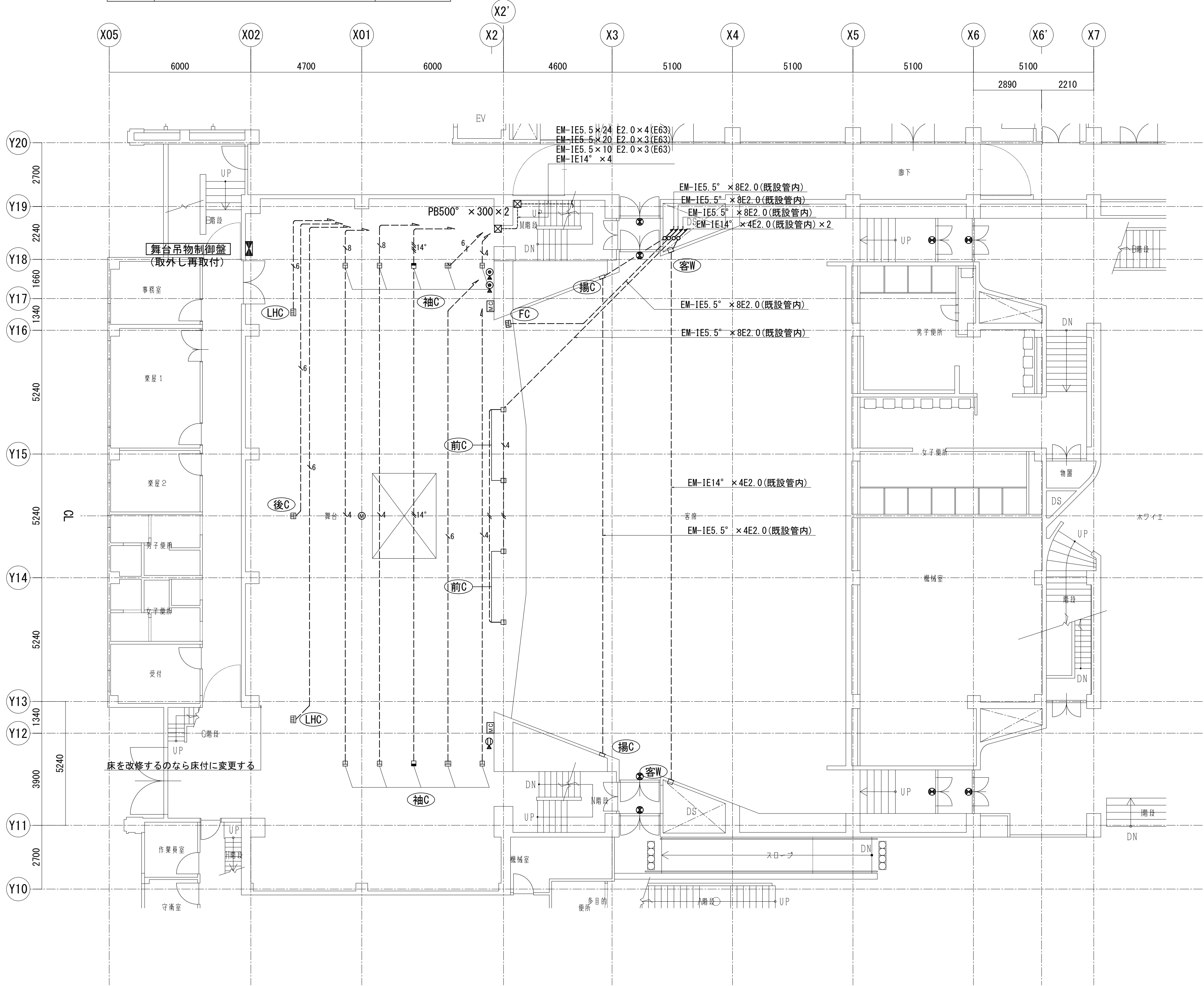
設計図

図面名	図面種類
電気設備 1・2階平面図(改修前)	E
縮 尺	図面番号
S=1:100(A3版1:200)	03

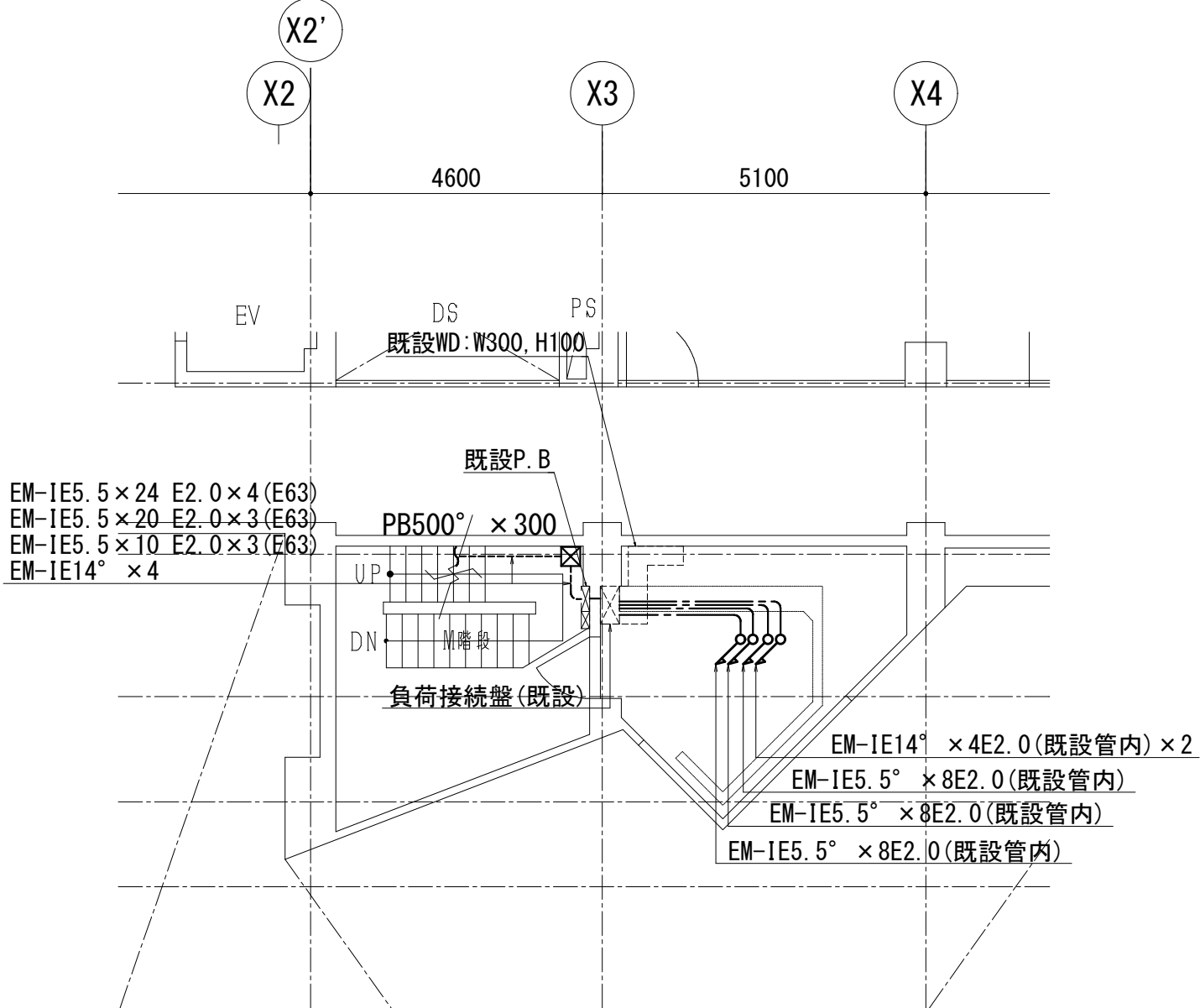


- 注記
- 特記無き図中の配線及び機器を全て撤去する。
但し細破線の設備を除く。
 - 特記無き配管配線は下記とする。
----- HIV1.6×2(19)
----- HIV1.6×3(19)

設備凡例		
記号	名 称	備 考
FC	フットライト用フロアコンセント	撤去・新設
前C	舞台前フロアコンセント	撤去・新設
袖C	舞台袖フロアコンセント	撤去・新設
後C	舞台後フロアコンセント	撤去・新設
揚C	揚幕コンセントプレート	別途工事
客W	客席ウォールコンセントプレート	撤去・新設
LHC	ローアホリ用フロアコンセント	撤去・新設



1 階平面図 S=1:100



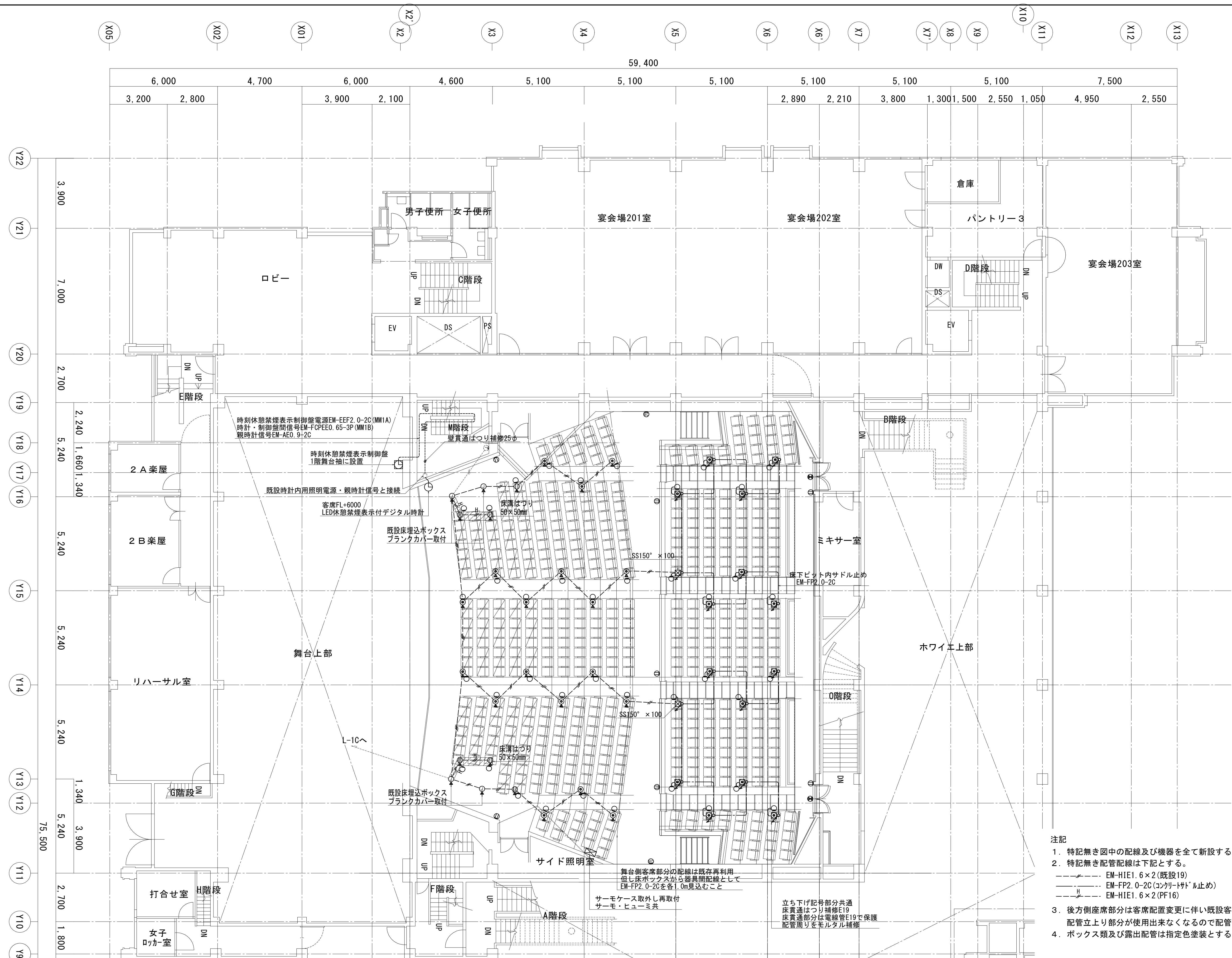
2 階平面図 S=1:100

凡例表

記 号	名 称	備 考
■	舞台吊り物制御盤	取外し・再取付
○	フットライト	撤去・新設 (支給品取付)
□	プルボックス	破線は既設
⊠	バリエート 露出スイッチボックスに取付	新設
①	埋込コンセント2P15A×2	撤去・新設
②	フロアコンセント2P15A×1	撤去・新設
③	ローテーションアウトレット	撤去・新設
④	舞台照明設備フロアコンセント	撤去・新設
⑤	避難口誘導灯SH1-FBF20-BH	撤去・新設
⑥	壁マイクコンセント	撤去・新設
⑦	フロアマイクコンセント	撤去
⑧	マイクエレベーター	撤去
⑨	マイクコネクタボックス	取外し・再取付
⑩	ワイヤレスアンテナ	取外し・再取付

注記

- 図中の配線を撤去する。
- 特記無き配管配線は下記とする。
 - EM-IE5.5° × 2E2.0 (PF16)
 - EM-IV5.5° × 4E2.0 (PF22)
 - EM-IE5.5° × 6E2.0 (PF28)
 - EM-IE5.5° × 8E2.0 (PF28)
 - EM-IE14° × 2E2.0 (PF22)
 - EM-IE14° × 4E2.0 (PF28)
- 舞台照明用フロアコンセント更新に関しては別途発注の 市民会館舞台照明設備改修工事と調整を行いながら材料の選定や施工を行うこと。
- 舞台吊物制御盤は床改修に伴い取外しを行い壁から漏水が有るので 壁から離して再取付を行う。(取付架台建築にて新設)



注記

- 特記無き図中の配線及び機器を全て新設する。
- 特記無き配管配線は下記とする。
 - EM-HIE1.6×2(既設19)
 - EM-FP2.0-2C(コンクリートサドル止め)
 - EM-HIE1.6×2(PF16)
- 後方側座席部分は客席配置変更に伴い既設客席通路誘導灯の配管立上り部分が使用出来なくなるので配管配線の改修を行う。
- ボックス類及び露出配管は指定色塗装とする。

フロアコンセント FC (C型30Aコンセントx4個口) フットライト用	フロアコンセント <table border="1" data-bbox="878 552 1163 615"> <tr> <th></th><th>B</th><th>W1</th><th>W2</th></tr> <tr> <td>1, 2個口</td><td>160</td><td>190</td><td>191</td></tr> <tr> <td>3個口</td><td>210</td><td>240</td><td>241</td></tr> </table> (C型30Aコンセントx1, 2, 3個口) 舞台前・舞台袖・舞台後用		B	W1	W2	1, 2個口	160	190	191	3個口	210	240	241
	B	W1	W2										
1, 2個口	160	190	191										
3個口	210	240	241										
フロアコンセント ■ (C型30Aコンセントx1個口) 舞台袖用	フロアコンセント LHC (C型20Aコンセントx2個付、出力コネクタx2個付) ロアホリゾン用												
客席ウォールコンセントプレート 客W (C型30Aコンセントx2個口)													

LED休憩禁煙表示付デジタル時計	時刻休憩禁煙表示制御盤																																																																												
<table> <tr> <td>ケース</td><td>銅板 クリーム色</td></tr> <tr> <td>入力電源</td><td>AC100V±10% 50/60Hz</td></tr> <tr> <td>入力信号</td><td>DC12V シリアル信号（制御器より）</td></tr> <tr> <td>使用温度範囲</td><td>0℃～40℃</td></tr> <tr> <td>時計表示</td><td></td></tr> <tr> <td>表示面</td><td>前面アクリル板 グレースモーク</td></tr> <tr> <td></td><td>内パネル 銅板 黒色</td></tr> <tr> <td>表示素子</td><td>LED白色 7セグメント 文字高さ120mm</td></tr> <tr> <td>休憩表示</td><td></td></tr> <tr> <td>表示面</td><td>前面アクリル板 グレースモーク</td></tr> <tr> <td></td><td>内パネル 銅板 黒色</td></tr> <tr> <td>表示素子</td><td>LED白色 7セグメント 文字高さ120mm</td></tr> <tr> <td>表示内容</td><td>1分単位減算</td></tr> <tr> <td>文字</td><td>白色</td></tr> <tr> <td>内部照明</td><td>LED 白色</td></tr> <tr> <td>禁煙表示</td><td></td></tr> <tr> <td>地 板</td><td>アクリル板 白色 地…赤色 文字…白色</td></tr> <tr> <td>マーク</td><td>地…白色 赤色及び黒色</td></tr> <tr> <td>内部照明</td><td>LED 白色</td></tr> <tr> <td>ブザー</td><td>AC100V用</td></tr> </table>	ケース	銅板 クリーム色	入力電源	AC100V±10% 50/60Hz	入力信号	DC12V シリアル信号（制御器より）	使用温度範囲	0℃～40℃	時計表示		表示面	前面アクリル板 グレースモーク		内パネル 銅板 黒色	表示素子	LED白色 7セグメント 文字高さ120mm	休憩表示		表示面	前面アクリル板 グレースモーク		内パネル 銅板 黒色	表示素子	LED白色 7セグメント 文字高さ120mm	表示内容	1分単位減算	文字	白色	内部照明	LED 白色	禁煙表示		地 板	アクリル板 白色 地…赤色 文字…白色	マーク	地…白色 赤色及び黒色	内部照明	LED 白色	ブザー	AC100V用	<table> <tr> <td>ケース</td><td>銅板製 クリーム色</td></tr> <tr> <td>入力電源</td><td>AC100V±10% 50/60Hz 約50VA</td></tr> <tr> <td>水晶精度</td><td>過差±1.2秒以内（0℃～40℃）単独の時</td></tr> <tr> <td>休憩時間設定</td><td>5分単位設定 最大30分</td></tr> <tr> <td>予鈴時間設定</td><td>1分単位 本鈴（0分）の10分～1分前の1回</td></tr> <tr> <td>出力信号</td><td>2線方式（シリアル信号）</td></tr> <tr> <td>入力信号</td><td>外部操作（遠隔操作器）からの制御信号</td></tr> <tr> <td>ブザー信号</td><td>0秒になった時、表示器のブザー鳴動</td></tr> <tr> <td>吹鳴時間</td><td>1～30秒可変（設定1～10秒以内は1秒単位、それ以上は5秒単位）</td></tr> <tr> <td>モニタ</td><td>時刻／休憩 兼用</td></tr> <tr> <td></td><td>時刻 時、分 休憩 分、秒</td></tr> <tr> <td></td><td>LED 赤色 文字高…15mm</td></tr> <tr> <td>停電時動作</td><td>約10時間（記憶回路のみ）</td></tr> <tr> <td>その他の操作</td><td>スタート、ストップ、ブザー手動・断、リセット、休憩・禁煙・時計表示</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </table>	ケース	銅板製 クリーム色	入力電源	AC100V±10% 50/60Hz 約50VA	水晶精度	過差±1.2秒以内（0℃～40℃）単独の時	休憩時間設定	5分単位設定 最大30分	予鈴時間設定	1分単位 本鈴（0分）の10分～1分前の1回	出力信号	2線方式（シリアル信号）	入力信号	外部操作（遠隔操作器）からの制御信号	ブザー信号	0秒になった時、表示器のブザー鳴動	吹鳴時間	1～30秒可変（設定1～10秒以内は1秒単位、それ以上は5秒単位）	モニタ	時刻／休憩 兼用		時刻 時、分 休憩 分、秒		LED 赤色 文字高…15mm	停電時動作	約10時間（記憶回路のみ）	その他の操作	スタート、ストップ、ブザー手動・断、リセット、休憩・禁煙・時計表示								
ケース	銅板 クリーム色																																																																												
入力電源	AC100V±10% 50/60Hz																																																																												
入力信号	DC12V シリアル信号（制御器より）																																																																												
使用温度範囲	0℃～40℃																																																																												
時計表示																																																																													
表示面	前面アクリル板 グレースモーク																																																																												
	内パネル 銅板 黒色																																																																												
表示素子	LED白色 7セグメント 文字高さ120mm																																																																												
休憩表示																																																																													
表示面	前面アクリル板 グレースモーク																																																																												
	内パネル 銅板 黒色																																																																												
表示素子	LED白色 7セグメント 文字高さ120mm																																																																												
表示内容	1分単位減算																																																																												
文字	白色																																																																												
内部照明	LED 白色																																																																												
禁煙表示																																																																													
地 板	アクリル板 白色 地…赤色 文字…白色																																																																												
マーク	地…白色 赤色及び黒色																																																																												
内部照明	LED 白色																																																																												
ブザー	AC100V用																																																																												
ケース	銅板製 クリーム色																																																																												
入力電源	AC100V±10% 50/60Hz 約50VA																																																																												
水晶精度	過差±1.2秒以内（0℃～40℃）単独の時																																																																												
休憩時間設定	5分単位設定 最大30分																																																																												
予鈴時間設定	1分単位 本鈴（0分）の10分～1分前の1回																																																																												
出力信号	2線方式（シリアル信号）																																																																												
入力信号	外部操作（遠隔操作器）からの制御信号																																																																												
ブザー信号	0秒になった時、表示器のブザー鳴動																																																																												
吹鳴時間	1～30秒可変（設定1～10秒以内は1秒単位、それ以上は5秒単位）																																																																												
モニタ	時刻／休憩 兼用																																																																												
	時刻 時、分 休憩 分、秒																																																																												
	LED 赤色 文字高…15mm																																																																												
停電時動作	約10時間（記憶回路のみ）																																																																												
その他の操作	スタート、ストップ、ブザー手動・断、リセット、休憩・禁煙・時計表示																																																																												